



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 日本システムバンク株式会社 上場取引所 名
コード番号 5530 URL https://www.syb.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 信嘉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 安嶋 一 TEL 0776-30-1800
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 一
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績 (2023年7月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,800	—	130	—	127	—	75	—
2023年6月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 86百万円 (—%) 2023年6月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	65.73	—
2023年6月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2023年6月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年6月期第1四半期の数値及び2024年6月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	6,724	2,090	31.1
2023年6月期	6,874	2,048	29.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 2,090百万円 2023年6月期 2,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	24.00	—	39.00	63.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	24.00	—	29.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の連結業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,150	3.8	444	3.3	432	2.0	262	△1.4	229.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	1,145,144株	2023年6月期	1,145,144株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	1,668株	2023年6月期	1,668株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	1,143,476株	2023年6月期1Q	一株

(注) 2023年6月期1Qについては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、資源・エネルギー価格の高騰による物価上昇、世界的な金融引き締めによる影響があるものの、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復がみられました。

当社グループが属する駐車場業界におきましては、企業活動の持ち直し、個人消費の持ち直しに伴い、駐車場の稼働率は順調に推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、収益の安定化と売上拡大を目標に、新規投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,800,919千円、営業利益は130,532千円、経常利益は127,967千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は75,161千円となりました。

報告セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

① コインパーキング事業

当社グループのコインパーキング事業は、主に、コインパーキングの運営ビジネスと駐車場機器の販売・保守ビジネスで構成されています。前者では、土地所有者から当社グループが土地を賃借し、当社グループ直営の駐車場・駐輪場として運営し、後者では、当社グループが駐車場運営事業者に駐車場機器を販売し、当社グループが駐車場システムの保守業務を受託しております。当第1四半期連結累計期間における直営及び管理受託している駐車場・駐輪場数及び車室数は以下のとおりであります。

(直営及び管理受託の運営駐車場・駐輪場数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (件)	1,201	23	15	1,209	8
管理受託駐車場・ 駐輪場 (件)	6,171	107	102	6,176	5

(車室数)

区分	当期首	増加	減少	当期末	増減
直営駐車場・駐輪場 (車室)	22,507	471	345	22,633	126
管理受託駐車場・ 駐輪場 (車室)	113,799	2,298	2,178	113,919	120

コインパーキング運営ビジネスにおける新規開設については、収益の安定化を目的として、感染症の影響を受けにくい住宅街等の郊外を中心に進めました。既存駐車場については、駐車場の需給バランスを考慮した料金改定の最適化を継続的に実施し、収益力の向上に努めました。

駐車場機器の販売・保守ビジネスにおける新規受託については、駐車場検索・利用料金～利便性を向上させることで、新規獲得を図りました。既存駐車場については、駐車場システム向けの紙幣識別機(2024年発行予定の新紙幣対応)の入替、駐車料金領収書のインボイス対応に注力し売上増加を図りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における外部顧客への売上高は1,767,498千円、セグメント利益は264,844千円となりました。

② プロパティマネジメント事業

当第1四半期連結累計期間においては、賃貸用建物の維持管理に伴う修繕費が増加しました。その結果、外部顧客への売上高は31,226千円、セグメント利益は1,007千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、1,980,163千円と前連結会計年度末と比べ183,520千円(8.5%)の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少176,106千円、売掛金の減少23,959千円及び貯蔵品の増加30,353千円であります。貯蔵品につきましては、駐車場システム向けの紙幣識別機(2024年発行予定の新紙幣対応)の増加が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、4,744,681千円と前連結会計年度末と比べ34,022千円(0.7%)の増加となりました。その要因は、有形固定資産の増加26,936千円及び投資その他の資産の増加10,469千円であります。

有形固定資産につきましては、直営駐車場・駐輪場の新規開設に係る設備投資による機械装置及び運搬具の増加41,241千円が主な要因であります。

投資その他の資産につきましては、投資有価証券の増加16,007千円が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、1,823,766千円と前連結会計年度末と比べ176,017千円(8.8%)の減少となりました。その主な要因は、買掛金の減少52,753千円及び1年内返済予定の長期借入金の減少114,676千円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、2,810,825千円と前連結会計年度末と比べ15,435千円(0.5%)の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少18,047千円及び資産除去債務の増加13,334千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、2,090,252千円と前連結会計年度末と比べ41,954千円(2.0%)の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加30,565千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、「サマリー情報 3. 2024年6月期の連結業績予想」に記載のとおりであります。経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428,439	1,252,332
売掛金	338,730	314,770
リース債権	15,653	10,543
仕掛品	14,074	17,392
貯蔵品	87,130	117,484
前払費用	257,196	252,398
その他	22,459	15,242
流動資産合計	2,163,683	1,980,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	842,395	835,388
機械装置及び運搬具(純額)	312,357	353,598
土地	3,001,575	3,001,575
リース資産(純額)	21,823	17,002
建設仮勘定	10,558	4,341
その他(純額)	92,851	96,592
有形固定資産合計	4,281,561	4,308,498
無形固定資産		
のれん	7,185	6,100
その他	62,167	59,869
無形固定資産合計	69,353	65,969
投資その他の資産		
投資有価証券	89,377	105,384
敷金及び保証金	134,309	133,771
繰延税金資産	80,018	75,029
その他	56,038	56,027
投資その他の資産合計	359,743	370,213
固定資産合計	4,710,658	4,744,681
資産合計	6,874,342	6,724,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	459,435	406,682
1年内返済予定の長期借入金	729,461	614,785
リース債務	41,649	36,786
未払費用	63,915	86,752
未払法人税等	99,028	55,756
契約負債	59,085	58,993
預り金	372,427	371,080
賞与引当金	80,079	49,931
その他	94,701	142,998
流動負債合計	1,999,783	1,823,766
固定負債		
長期借入金	2,212,638	2,194,591
リース債務	29,755	22,063
資産除去債務	482,210	495,545
長期預り敷金保証金	87,497	85,198
繰延税金負債	7,503	7,503
その他	6,655	5,924
固定負債合計	2,826,260	2,810,825
負債合計	4,826,044	4,634,592
純資産の部		
株主資本		
資本金	583,630	583,630
資本剰余金	647,797	647,797
利益剰余金	812,600	843,166
自己株式	△2,038	△2,038
株主資本合計	2,041,990	2,072,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,307	17,696
その他の包括利益累計額合計	6,307	17,696
純資産合計	2,048,297	2,090,252
負債純資産合計	6,874,342	6,724,844

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,800,919
売上原価	1,265,660
売上総利益	535,259
販売費及び一般管理費	404,726
営業利益	130,532
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	604
受取保険金	1,312
その他	839
営業外収益合計	2,761
営業外費用	
支払利息	5,259
減価償却費	67
営業外費用合計	5,326
経常利益	127,967
特別利益	
投資有価証券売却益	397
特別利益合計	397
特別損失	
固定資産除却損	6,396
特別損失合計	6,396
税金等調整前四半期純利益	121,968
法人税等	46,806
四半期純利益	75,161
親会社株主に帰属する四半期純利益	75,161

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	75,161
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	11,389
その他の包括利益合計	11,389
四半期包括利益	86,550
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	86,550

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コインパー キング事業	プロパティマネ ジメント事業	計				
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	1,028,121	200	1,028,322	2,194	1,030,516	—	1,030,516
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	708,531	—	708,531	—	708,531	—	708,531
顧客との契約から生じる収益	1,736,653	200	1,736,854	2,194	1,739,048	—	1,739,048
その他の収益 (注) 4	30,845	31,026	61,871	—	61,871	—	61,871
外部顧客への売上高	1,767,498	31,226	1,798,725	2,194	1,800,919	—	1,800,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	66	66	—	66	△66	—
計	1,767,498	31,292	1,798,791	2,194	1,800,985	△66	1,800,919
セグメント利益又は損失 (△)	264,844	1,007	265,852	△9,925	255,926	△125,393	130,532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、工芸品販売事業、ドローン事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△125,393千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△125,993千円、その他の調整額600千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

その他の調整額は、報告セグメントに帰属しない当社に対する経営指導料支払額の消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく収益であります。